



## 衣類の「テカリ」と「アタリ」について

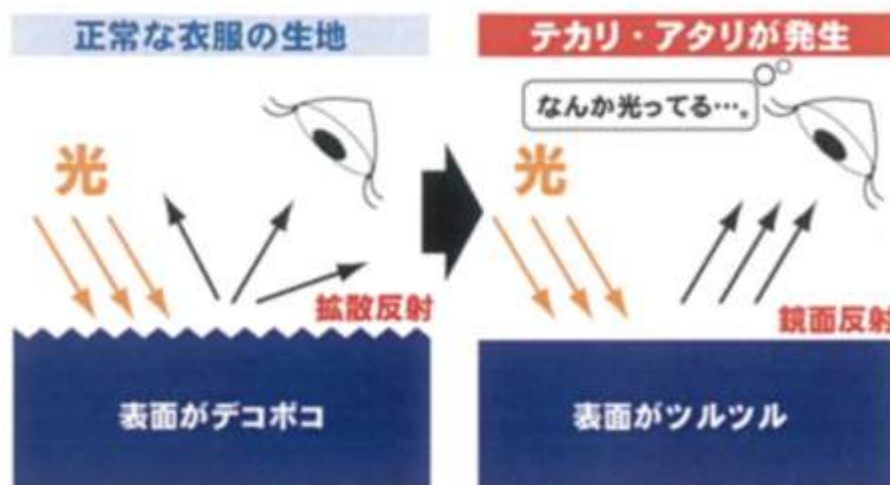
紺や黒などのウール素材による「スーツ」や「コート」等で、肘やポケット付近、臀部や腰ポケット付近等が光って見えるようになっていた！という経験はありませんか？

生地がつぶれてツルツルになり光が反射してしまう現象ですが、この現象を「テカリ」や「アタリ」と言い、その原因によって使われ方が違います

### ★テカリ

**原因)** 「**圧力**」と「**摩擦**」によって繊維等が押しつぶされ、表面がツルツルになったところに光が反射して起こる現象です。

生地が新しいうちは光が拡散しますが、衣類を複数回着用することで繊維等が押しつぶされたり擦れたりします。すると生地表面は平らになり、光を目に直接的に届けてしまうようになります。



**「圧力」と「摩擦」を減らし  
表面の凸凹を残す事が  
「テカリ」「アタリ」の  
発生を遅らせる、第一歩！**

**予防対策)** 衣類を着用する以上、「摩擦」や「圧力」を防ぐ事は出来ません。

**「テカリ」の発生を遅らせる事がポイント**です。

- 1) 毎日、連続して着用しない。
- 2) 衣服の同じ場所に負担を掛けない様にする。  
(例：肩掛けタイプの鞆を同じ場所に掛けない等)
- 3) ひじが擦れる作業をする時は、上着を脱ぐ
- 4) **毎日ブラッシング**する。ブラッシングで寝てしまった繊維を起こす  
※ブラッシングの方法  
まず、下から上にブラッシングしてホコリを浮かせる  
次に上から下にホコリを落としながらブラッシングして生地目を整えるのが基本。
- 5) 衣服の色  
紺や黒等濃い色はテカリが目立ちやすく、灰色や白色・淡い色は比較的目立ちにくい。



### ★アタリ

**原因)**

**予防対策)**

アイロンやプレス機の圧力で生地が寝てしまったり、つぶされて起こる現象です。

アイロンを掛ける際は「あて布」をしたり、「アイロンを浮かせた状態で蒸気をあてるだけにする」等、繊維を圧迫して表面の凸凹を損なわない様にする事がポイント！



### ★まとめ

学生服やスーツ等によく使われるウールは、滑らかな手触りで季節を問わず着用できますが、「テカリ」が発生しやすい素材でもあります。

一度発生してしまった「テカリ」は完全になくすことは出来ませんが、「**クリーニング**」や洗濯をして繊維がほぐれると生地表面に凸凹が出来「テカリ」を目立ちにくくすることが出来ます